

## 公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	岡林 春雄	所属	徳島文理大学
研究会等名称	公益社団法人日本心理学会ダイナミカルシステム研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数（会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください）</p> <p>会員        15 名（うち認定心理士 2 名）  非会員      8 名（うち認定心理士 0 名）</p> <p>2) 集会等の目的・成果等  （実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください）</p> <p>①2018年9月26日（水） 日本心理学会第82回大会  （於 仙台国際センター）  SS-053 シンポジウム 「変化をとらえるDSアプローチ」  話題提供：千野直仁、  指定討論者：佐藤俊雄、河合優年  参加者：延べ人数 20人  「対人関係の変化」を中心に、重み付き有向グラフ（weighted diagraph）の力学的アプローチによって変化パターンをとらえる試みについて話題提供があり、討論を行った。  オムロンなどの企業関係者からは、機器に組み込むことを念頭にした質問があった。理論構築に関する基本的な心構えについての討論もなされた。若い参加者も多く、今後の心理学理論を構築していってくれる研究者を育てる役割を少しでも果たせたと考えている。</p> <p>②2018年10月31日（水）  テーマ：PGR/GSR のデモンストレーションとそのゆれについてのディスカッション  話題提供者：青木宏 氏（非会員 元法務省技官、徳島文理大学 生理心理学）  参加者：12名  生理心理的な発想のもと、皮膚の静電気反応をとらえることはこれまでも行われてきた（例 ポリグラフ）わけだが、その波のゆらぎ（fluctuation:ゆれ）が人間にとっては重要なのではないかということでディスカッションを行った。</p> <p>今後とも、メンバーのレベルアップをはかりながら、世界の心理学では当たり前になっているダイナミカルシステム理論を日本の若い研究者に広め、世界で討論ができる日本の心理学を構築していきたいと考えている。</p>		

(様式5)

2018年12月14日

日本心理学会研究会

年度会計報告書

研究会名称 公益社団法人ダイナミカルシステム研究会

研究会番号 研18002

助成金額 ¥30,000

年月日	項目	金額
2018年10月31日	講師謝礼	¥30,000

---

支出合計 ¥30,000